

会 議 録

[所管課 水谷公民館]

会議の名称	平成29年度第2回水谷地区公民館運営審議会
開催日時	平成29年12月19日（火） 午後4時～午後5時45分
開催場所	水谷公民館 和室2
出席者	（委員） 是永 国彦委員 山本百合子委員 関根 健一委員 中島 秀行委員 （事務局） 冨塚 一資館長 高見 淳也主査
会議次第	【報告・連絡事項】 （1）学級講座等開催事業等に関して （2）施設維持管理事業に関して 【協議事項】（意見交換） （1）水谷公民館の事業展開について ＊地域と公民館について （水谷文化祭、なんばた青空市場などの取り組みから）
会議資料	・各種事業案内

会 議 内 容

*あいさつ（館長、水谷地区公民館運営審議会委員代表）

【1 報告・連絡事項】

（1）学級講座等開催事業等に関して

＊事務局から主な秋季開催事業について報告

- ・みずほ中央公園を活用した事業
 （パークヨガ体験講座・はじめての俳句講座）
- ・グラウンドゴルフ&いも煮交流会

⇒質疑等なし

＊事務局から今後の主な予定事業について報告

- ・水谷新春交流会
- ・平和学習会&水谷公民館ピースサロン特別企画
- ・地域自治シンポジウム
- ・教育講演会

⇒質疑等なし

（2）施設維持管理事業に関して

＊講座室の机配置の変更（H30. 1月～）について事務局から説明

⇒質疑等なし

【2 協議事項（意見交換）】

（1）水谷公民館の事業展開について

＊地域と公民館について（水谷文化祭、なんばた青空市場などの取り組みから）

事務局： 11月開催『水谷文化祭』および『なんばた青空市場』が開催され、水谷地区の公運審委員には新たなアイデアなどをいただき、取り組んだ。そこで、公運審委員のみなさまから、ご意見等をいただき、今後の公民館事業に活かしていきたい。

（水谷文化祭のようすのDVDを視聴（J:COMで放映されたもの）

委員： 今回、水谷文化祭では9人の中学1年生が参加したが、地域とのつながりという点や来場された方にも良い取り組みであった。次年度以降も協力していきたい。参加した中学生には後日、学校としても賞状を出す予定である。

委員： 今回は、文化祭の2日目に、中学生ボランティア参加の企画や、ミニステージがあり、模擬店広場は賑わいをみせたが、1日目はさびしい感じがしたが。

事務局： 同様な意見は、先日行われた文化祭実行委員会の反省会で出ている。今回、初めての企画ということで、中学生ボランティア、ミニステージの企画は2日目のみとしたが、次回は1日目にも行えるよう検討していきたい。

委員： イベントは模擬店や食べ物などにぎわいを作り、子どもや若い世代が来場するきっかけになると思う。例えばスタンプラリーを行って抽選会を行うとか、バザー出店を募集するとかアイデアはあると思う。

委員： 地域のことを知るという意味で、この地域の名産品等を紹介、販売するコーナーも良いのでは。またポスタ原画を描いてもらうなども良いのでは。

事務局： 水谷地域は若い世代の人口が増えている地域で、新たに住まわれている方も多い。そのような点からも、地域を紹介するようなコーナーの設置はとても意義のあることだと考える。

委員： そのようなことが、子どもたちが地域を大切しようとする思いなどを育くむきっかけになると思う。

委員： 中学生のボランティアは、自分たちのアイデアで企画ができるようになればと思う。

事務局： 公民館としてもそのように考える。回数を重ねる中でそのように展開できるようにしていきたい。

委員： 文化祭での若い世代の参加についてアイデアがでていますが、公民館はリタイヤした人が集まるイメージが強い。その中で、生涯学習課で取り組んでいる小中学生の学習支援事業を公民館で実施していることはありがたい。

委員： 公民館の利用のしかた『こんなふうに使えるんだ』ということをもっとPRしていく必要があるのでは。

委員： 学習支援事業に参加する児童・生徒にも、公民館利用者の一人として、意見やアイデアと聞いて、公民館の事業や運営に活かしてみることも有効ではと考える。そのためにはSNSの活用も大切と考える。

事務局： 学習支援事業は今年度から始まった取り組みで、まだ参加する児童・生徒と公民館との関係はない状態である。これまで公民館利用者として関係を築いていこうという考え方はもっていなかったため、今後の状況等をみながら可能性

を考えていきたい。

委員： 学習支援事業を学校を会場に行っている自治体が多いが、富士見市のように学校を離れた場所で行うことは意義のあることだと考える。特に多彩な住民がいるこの地域では必要なことだと感じている。公民館は出入りが自由なイメージがあると思う。

事務局： 文化祭の取り組みから、さらなるアイデアや、子どもや若い世代の公民館参加へと、貴重な意見を伺えた。このことを今後の文化祭や事業運営に行書いていきたいと考える。

事務局： 『なんばた青空市場』でも、水谷地区の委員が中心となり、コーヒーコーナーを新たに行ったが、ご意見、感想を伺いたい。

委員： 他の地域の方と話す機会はあまりないので、公運審として、いろいろな話ができただことは良かった。

委員： 南畑地域の特徴を活かして、田んぼで行うこの事業は意義のあることだと感じた。賑わいもあった。

委員： コーヒーの準備をするために、実施前に公民館で準備を行っていたが、そこでコービーの香りに、利用していた複数のサークルの方たちが様子を見に来て、話が広がった。日頃、隣の部屋で活動していても、他のサークルの方と話をした。

事務局： 『なんばた青空市場』の実行委員会からも今回の取り組みを好意的に受け止めていただいた。

委員： コーヒーは、売ることだけが目的でなく、そこから広がる会話の中で、様々な人たちと交流が広がっていければという思いで取り組んでいる。今後も機会があれば行っていきたい。

【3 その他】

(事務局から事務連絡)

- 生涯学習関係5委員合同研修会・交流会の案内
- 第23回入間地区生涯学習フォーラムの案内
- 次回会議は3月中～下旬に平成29年度の事業評価について意見伺う内容で実施予定

*閉会